

戎市郎氏文書概要

1: 文書群番号	103005
2: 文書群名	戎市郎氏文書
3: 出所	戎市郎家
4: 家業・役職等	尼いも農家「戎屋」、大阪港土地株式会社取締役
5: 地名	兵庫県川辺郡大洲村／尼崎市北初島町・南初島町・東初島町
6: 行政区分	兵庫県第9区／別所組戸長役場／尼ヶ崎町／尼崎市
7: 歴史	初島新田は正徳・享保年間（1711～1736）に築地町・松島の南に開発された地域。明治期には尼いもの特産地であった。畑砂慣行という近世以来の永小作権があり、その存続をめぐって明治期後半から大正期にかけて紛争が続いたが、明治末年以降からは工業地帯へと変貌を遂げていった。 戎家は祖父卯之助氏の代に風呂辻町の本家より分家、初島に居住した。屋号を「戎屋」と称し、尼いものを栽培、京都へ出荷していたという。ほかにピアノ工場も経営。昭和9年（1934）の室戸台風による水害を被り、尼いものは全滅、ピアノ工場なども浸水し操業が困難になったことを契機に、14年に伊丹へ転居した。
8: 伝来	井上真理子氏がおこなった尼いも農家聞き取り調査時に史料を所蔵との情報を得て、平成15年（2003）5月30日自宅を訪問。同日史料を借用し、17年1月に整理・目録作成を完了した。
9: 史料入手先	戎市郎氏（原蔵者）
10: 点数	43点（目録件数43件）
11: 年代	明治10年（1877）～昭和3年（1928）
12: 構造と内容	本文書群は、大半が初島関係の史料である。おもに①土地関係、②金融関係、③農業関係、④その他で構成される。①は初島新田における作砂券（底土権を持つ地主が上土権所有者へ発行）、風呂辻町の地券、②は曾祖父與平氏が貸し付けた金銭借用証、③は尼いもなどの農産物品評会賞状である。そのほかにだんじり売却代金受け取り覚え、小作米価格改正請求訴状、甘藷やピアノ等の褒状類、風呂辻町が購入した地車に対して曾根崎警察署が発行した大阪市内通行認可証がある。
13: 関連史料	なし
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	近藤浩二